

# 議会広報広聴委員会記録

平成31年2月26日(火)

15時20分～16時26分

議会第1委員会室

- 【出席者】 小川委員長、川上副委員長、  
三浦委員、沖田委員、西川委員、村武委員、笹田委員、芦谷委員、  
田畑委員、澁谷委員
- 【事務局】 篠原次長、近重書記
- 

## 議題

### 1 はまだ議会だよりVol.53について

- (1) 掲載記事及び原稿提出締切日について……………資料1
- (2) ページレイアウトについて……………資料2
- (3) その他

### 2 議会報告会について

- (1) 進行方法について……………資料3
- ▶ 3月12日の全員協議会終了後班会議を行う
- (2) その他
- ▶ 4月の行政情報番組で放送予定

### 3 行政視察について

- (1) 日程再調整について
- ▶ 7月10日～12日で再調整
- (2) その他

### 4 その他……………資料4

次回会議 開催予定日：平成31年4月4日(木) 午前9時から

[ 15時 20分 開議 ]

小川委員長 議会広報広聴委員会を開催します。皆さまご出席なので始めたいと思います。今日は主に3点に渡って協議していきますのでよろしくお願ひします。

## 1. はまだ議会だよりVol. 53について

### (1) 掲載記事及び原稿提出締切日について

### (2) ページレイアウトについて

### (3) その他

小川委員長 資料1から検討していきます。近重さんから説明していただけますか。

近重書記 (以下、資料をもとに説明)

(以下、自由討議)

小川委員長 中山間の中間報告を入れるなら15ページのあたりかな。寄附行為をやめてそれを入れるくらいしかないのでは。

小川委員長 いくらかピックアップして、常任委員会ごとに……バランスよく分かれれば良いけど。

笹田委員 大本の予算を書いておいて、予算内容については常任委員会のピックアップで良いのでは。

小川委員長 常任委員会にもし分けられれば分けてそこに担当してもらうしかないけど、対応できるような状況かも分からないので。シナリオを作らないといけないでしょう。

西川委員 あれは終わった。

小川委員長 ではピックアップは正副でやるので、その原稿のお願いはこちらで相談した方をお願いしようと思います。

(「はい」という声あり)

次回は4月4日9時からでよろしいですか。

笹田委員 これはもう調査会ではなく委員会になるのですかね。

近重書記 はい。

(以下、自由討議)

## 2. 議会報告会について

### (1) 進行方法について

### (2) その他

小川委員長 議会報告会についてです。先般の全員協議会の時に進行方法についての資料を配布させていただきました。4人の班長さんに進め方も含めて検討していただいています。詳しい中身は後日とのことですが、班長会議の内容を西川委員から説明していただきたいと思います。

西川委員 議会報告会班長、私と村武委員と皆さんとで相談して、5月の議会報告会の進め方について話をしています。目的はいつもどおり3月議会で審議された予算をまずご説明することと、秋の井戸端会を経て各委員会で選定した今年度の討論のテーマについて深掘りする、これは当委員会で少しご相談したいのですが。

政策討論会の流れのフロー図をご覧ください。基本的に秋の井戸端会を経て8月の討論会までの間に、本当は報告会があるのですがそれはここには載っていません。今回は井戸端会で得られたテーマを各常任委員会で採んでテーマ設定して討論会という流れの中、5月の議会報告会をこのサイクルに組み込んで、ピックアップしたテーマを議会報告会で地域の人に討論としてもらう、という位置づけにしてみました。趣旨は以上です。

澁谷委員 この政策討論会は、別個のものと考えてもらわないと。だからこの5月の議会報告会は関係ない。

西川委員 一応考えたのが、井戸端会で上がってきたものをテーマに政策討論会の政策サイクルを作るとのことだったので、5月議会報告会はその中に入ってなかったのですが、せっきやく期間の間にあるので流れの中に入れて、報告会でもらった意見を一度議会でテーマに設定して、5月の報告会でそれを市民の方に討論してもらい、深めてから政策討論に持っていったらどうか、というのが今回の案です。

澁谷委員 だからそれは全然駄目だって。これは議運で決定したことだから、それに途中で5月など入れてももう間に合わないから。それをまた来年使うなら良いけど。もう今各委員会で作っていることだから。それを参考にする程度なら良いけど。

西川委員 参考にする程度で良いのです。

澁谷委員 5月は入れてないのだから。

西川委員 もちろんこのフローを変えるつもりではないのですが。

澁谷委員 これとは別個のものと考えてもらわないと。

西川委員 はい。参考にするために使えば。せっきやくこのサイクルがあるのだったら、1年間通してのサイクルの中に入れてれば役立つかと思って。

( 以下、引き続き資料をもとに説明 )

このような案です。討論会テーマを使って今回やろうというところを、

皆さんに考えていただきたいと思います。

小川委員長

テーマの関係と政策討論会の関係は皆さんの認識が一致できてなくて、まだのみ込めてないとは思いますが、考え方とすれば去年秋の井戸端会でも出された意見を各常任委員会に一旦振っています。それをもとにしながら政策討論会の課題を検討されていると思います。そういう流れの中で春の議会報告会で意見をもらう時のテーマをそこから出してもらう形でどうだろうか。投げた分の中から、もしかしたらないかもしれないし複数選ばれる可能性もありますが、1つをテーマとして出してもらえないだろうか。去年の井戸端会とは全くかけ離れたところではなく、それを参考にしてそういう流れをお願いしたいということですが、分かりにくかったですか。

西川委員

せっかく井戸端会でいただいた意見を、市民の方に返してという流れを作りたいと思います。

小川委員長

例年ですと春の議会報告会用にテーマを募って決めていたのですが、それだと去年の井戸端会と関連性が全くなくなってしまうので、せっかくあるのだからその中で揉んでもらっているならその中からテーマを絞ってもらえないかと。そういう考え方で進めているつもりだったのですが、どうも皆さんの認識と微妙に違うようで。

澁谷委員

政策討論会は今年初めて、去年の議運で決めてから今からやることなので、一緒にして欲しくないわけだ。まだ皆スケジュールなどのノウハウを持ってないのだから、それが1回確立できるとその辺のことができるのだけど、別個に考えて欲しい。皆が意見を言い始めて7月までにまとまらないだろうなど。各委員会からの上程が。全議員が話し合って24人の総意として出すには、何々して欲しいだけではいけないので、きちんとした政策根拠や調査分析の後での提案という形にしたい。

小川委員長

スケジュールの中で、2月上旬に委員会ごとに政策討論のテーマを選定ということで、これは全然、その段階に至ってないですね。

川上委員

そうではなくて、テーマはもうピックアップしてあるから、それをもとにしてされれば良い。

小川委員長

それならそれで。

西川委員

井戸端会でいただいた意見を持ってきましたというのはやりたいと思います。

小川委員長

ではそれで、よろしいですか。

笹田委員

あと勘違いのところをまとめておこななくていいかな。

三浦委員

秋の井戸端会の時に意見をいただいていた、広報広聴委員会から議運を

通じて各常任委員会にまた送っていると。それを参考にしながら政策討論会に向けた議論のテーマをピックアップする作業と、これは僕が勝手に解釈していたのは、その中でこれは執行部に回答を求めましょうというものも常任委員会が扱うものだと思っていたのです。つまり広報広聴委員会で上がってきた意見に対してどのように対応するかは決まっていなかったはずなので。それが今までどおり広報広聴委員会側で執行部に投げるものを正副委員長がピックアップされるのか、それとも常任委員会がそれも含めて作業を持っているのか、それを確認しておいた方が良くないかと思いました。そこが整理できていれば良いのですが。

小川委員長

多分できてないと思います。というのは、春の議会報告会の時にはもらった意見に対して執行部に回答を求めていましたが、秋はなかった。けれども去年はちょうど改正があってやってなかったもので勘違いをして、意見を求めないといけないという分け方をしたのだけど、秋の井戸端会では出された意見に対する執行部の意見を聞いたりしてなかった。そういう形の分け方をやめて、出た意見を議会だよりに掲載して終わりではなく、今後は議員間討議をしていこうという流れにはなっていたもので、とりあえず分けたのだから。僕の考えとすればそこまでが広報広聴としての任務だと感じるのです。それを受けた方の常任委員会が、執行部の意見は参考にされた方が良くないという判断をしてもらった方が良くないと思います。その辺は皆さんの認識が違うと思うので。常任委員会でそういう判断をされれば聞いてもらっても良いし聞かなくても良いしそれはあくまでこれから政策討論会に持っていくための1つの材料として持ってもらっていると判断しているもので、そういう流れでいこうと思っているので、ということはこちらへまた返ってという判断はないと思っています。

笹田委員

うちの委員会ではその話をしたのですが、他の委員会はどのような認識でいるのだろうかという話になりました。違うことをしていても意味がないし。議運から政策討論会の材料を見つけてくれとしか思ってなかったけど、三浦委員はそのように思っていたから、他の委員会はどのように思っているのか聞いた方が良くないよねと。材料にするのは委員会の勝手だと思いますが、我々の使命はそこからピックアップして政策討論につなげるというのが議運からの指令だと思っているので、他の委員会は勘違いされてないかと。

澁谷委員

振り分けをした資料は市民の一部の声だから絶対拘束される必要はないです。1つの声として参考に政策討論に使えるテーマがあればそれをピックアップしてもらっても良いし。ただ、今問題になっているのは春の報告会で執行部に回答を得たものは議会だよりで報告していますよね、今回

の場合は議員間の政策討論に役立てようということになっているけど、きちんとした形でボールを返してない。だからその辺をどうするか。

笹田委員

それをここで議論するべきだと思います。それは広報の仕事なので。

小川委員長

あの中から執行部に意見を求めた方が良いものを……。

笹田委員

それも含めて。

三浦委員

例えば君市踏切はいついつまでにどうなるのですか、という話があったと思いますが、あれは執行部に計画を聞いて何年までにこういう計画でいきますということは戻せると思います。そういうものはきちんと返してあげた方が良くないかと。それはホームページにQ&Aか一覧で載せるだけでも。冊子の方は井戸端会でいただいた意見について一部執行部からの回答をもらったものは掲載させていただきまうとかいう形で返してあげる、という何か返してあげないと聞きっぱなしになっていると思われるのかなと思っていて。色々宙ぶらりんになっているので整理しておいた方が良くないかと。

笹田委員

春も秋も含めてどういう対応をするのかはここで判断しないと、来ていただいて意見を言っていたからには、何かしらの対応をすべきだろうと思います。

小川委員長

秋はそういう形式を取ってなかったから、今回主な分は載せるにしてもそこまでは考えてなかった。春はそういうスタイルができ上がっていたからやらないといけなかったけど。報告してあげれば親切だね。

田畑委員

出た意見は大なり小なり、出た以上は何らかの回答は返してあげる。議会だよりとホームページと、少なくとも。あまり時間かけて汗をかかなくてもできることを整理整頓して、議会だよりの枠が許す範囲で書いて、市民の人に知らせてあげる。

( 以下自由討議 )

小川委員長

例えばグループに分かれた時の報告の仕方等も多分バラバラではなかったかと思いますが。それもある程度統一してもらおうと良い。

( 「よろしくお願ひします。」という声あり )

( 以下自由討議 )

小川委員長

全協の後に15分くらい時間を取ってもらって、その後に。

近重書記

4月の行政情報番組で議会報告会について、昨年度は小川委員長が1人で出られて5分程度話をいたしました。今年度は15分丸々使って4人の班長さんが出演されます。4月2日に録画して5日にチェックして、初めての放送は4月9日で、全部で36回放送するというので。今原稿を作っていただいています。28日までに三浦委員に提出をお願いします。

### 3. 行政視察について

#### (1) 日程再調整について

#### (2) その他

小川委員長	行政視察についてお願いします。
近重書記	日程の再調整です。愛知県犬山市議会、岐阜県可児市については改選等がある関係で5月はもう困難である旨回答がありました。11月になると委員の皆さんの改選もあるので、6月定例会議が終わった後と9月議会の前の7、8月で調整させていただいて、ただあの時期の愛知県・岐阜県はとても暑いですが、その時期しかないかと。でないともた10月になるので。可児市議会は9、10月までは困難との申し出がありました。犬山市議会は7月は大丈夫という回答はいただいています。
澁谷委員	6月頭は。
近重書記	6月頭は犬山市議会は改選の都合で困難とのことでした。 ( 以下自由討議 )
笹田委員	一週目で行きたい所を押さえて、あと周りを固めよう。
小川委員長	ではそれで行きましょう。 ( 以下自由討議 )
澁谷委員	それなら3、4、5にしてよ。
篠原次長	1週目はこれから議運で決定なのですが、6月定例会の最終日とその辺りになる予定なので、第2週の方がよろしいのではないのでしょうか。 ( 以下自由討議 )
近重書記	7月10、11、12の調整でよろしいですね。 ( 「はい」という声あり )
小川委員長	以上をもって広報広聴委員会を終わらせていただきます。 〔 16時 26分 閉議 〕

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 小川 稔宏